

## 機関誌名変更之际して

当研究所は1948年6月に、本学最初の研究機関として設立され、本年度で75周年を迎えた。設立当初には、研究成果を公表する機関誌として『国際政経事情』が発刊され（不定期ながらも第25号まで刊行）、設立10周年を機に誌名を『国際問題研究所紀要』に変更した。巻号は誌名変更之际しても引き継がれたため、その初号は第26号として刊行された。それ以来、定期刊行物化が進められ、研究成果を社会に問う場として昨年度までに第161号を数えている。この間、2012年度からは論説について、2017年度からは研究ノートについても査読制が取り入れられ、掲載内容の充実が進められた。

他方、英語タイトルに関しては、第25号までは、記載がないか、あったとしてもローマ字表記（Kokusai Seikei Jijo など）にとどまる状況が続き、号によっても対応がまちまちであった。ようやく落ち着いたのは、上述の日本語誌名の変更に伴ってのことであり、第26号から使用されたのは、*The Memoirs of Institute of International Affairs* であった。しかし、これも、第49号からは変更され、以後現在に至るまで *Journal of International Affairs* が用いられている。

この度（今162号から）、所員会議の議を経て日本語の誌名を『愛知大学国際問題研究』に変更することにしたが、「紀要」を『紀要』という誌名で刊行し続けることへの素朴な疑問と英語誌名との関係性に対する関心とがその背景にあった。誌名変更の検討のプロセスでは、『国際問題研究』とすることも考えられたが、愛知大学が発刊する学術誌であることを明確に示すために、頭に大学名を付すこととした。また、号数については、先人への敬意を秘めつつ、前例に倣い継続することとした。

最後に、戦後の日本において、類似の研究機関がまだ少ない中で当研究所が設立され、国際問題研究において一定のパイオニア的役割を果たしてきたというプライドを、この機会に再認識しつつ、今後に向けて、社会からさらに評価される機関誌をめざすという意気込みをここに示し、誌名変更の告知としたい。